

企業会員募集

産学連携による産業人材育成のサステイナブルな地域システム創り

企業会員とは

ものづくりのまち一北九州の確かな成長を支える「産業人材育成」の必要性を理解し、自社の人材育成と合わせて、地域の産業人材育成を協働して行う「北九州地域産業人材育成フォーラム」を支える企業です。

企業会員の募集

対象者	北九州市及び近隣市町の製造業等
負担金	年会費 30,000円
会員数	目標 200社

企業会員の役割

フォーラムは、ステークホルダーである大学・企業・学生・技術者等が事業に参画し、事業を活用することによって成立します。

- フォーラムの運営理念を理解し、フォーラムの事業を協働し、フォーラムの発展に尽くすこと。
- 地域の産業人材育成について、リーダーシップを発揮すること。
- フォーラムの持続的発展のために運営費を分担すること。

企業会員のメリット

フォーラム事業の活用

1 企業の認知度・社会的評価の向上

フォーラム事業を通じて多面的に大学、行政、産業界との交流が可能となり、認知度の向上、社会的評価の向上機会に恵まれます。

2 インターンシップ事業の活用

インターンシップを通じて、企業の認知度を高め、新卒学生採用者の採用可能性の向上等、採用環境の開発が出来ます。毎年、学生募集ツールに企業会員の企業情報を掲載し、インターンシップ対象学生（連携大学の2年/3年学部生、修士）に周知します。

実践型インターンシップ（研究型・課題解決型）を通じて、自社の課題解決、従業員のモチベーションの向上が期待されます。

3 社会人プログラム事業の活用

ドクターチャレンジプログラム、テクニカルカレッジ等の活用により技術者のリカレント、スキルアップ教育機会を得て、人材力の向上と大学との実践的な関係づくりが出来ます。

フォーラムの各種イベントの活用

- 産業人材育成に関する専門的なセミナー・講演会等の活用が可能です。
- 大学の学内企業説明会等に参加できます。

地域大学との連携・関係強化

- 大学関連行事への参加、研究者との交流、技術相談機会の開拓など、大学との連携の環境が構築できます。

多様な情報の受発信

- 関係機関の各種情報の活用及び企業情報の発信、また企業PR機会の活用など、情報の受発信の環境が広がります。
- フォーラム参加大学（地元理工系5大学）の学生がアクセスするフォーラムのHPに企業情報の掲載と企業HPのリンクが出来ます。



Kitakyushu Forum

for Development of Human resources and Industries

北九州地域産業人材育成フォーラムのご案内



北九州地域産業人材育成フォーラム
Kitakyushu Forum for Development of Human resources and Industries

お問合せ先

事務局 (公財) 北九州活性化協議会内

北九州市小倉北区古船場町1-35 Mail : info-jinzai@kpec.or.jp

TEL 093-541-3122 / FAX 093-541-0636



<https://www.kpec.or.jp/jinzai>

北九州地域産業人材育成フォーラム事業の目的

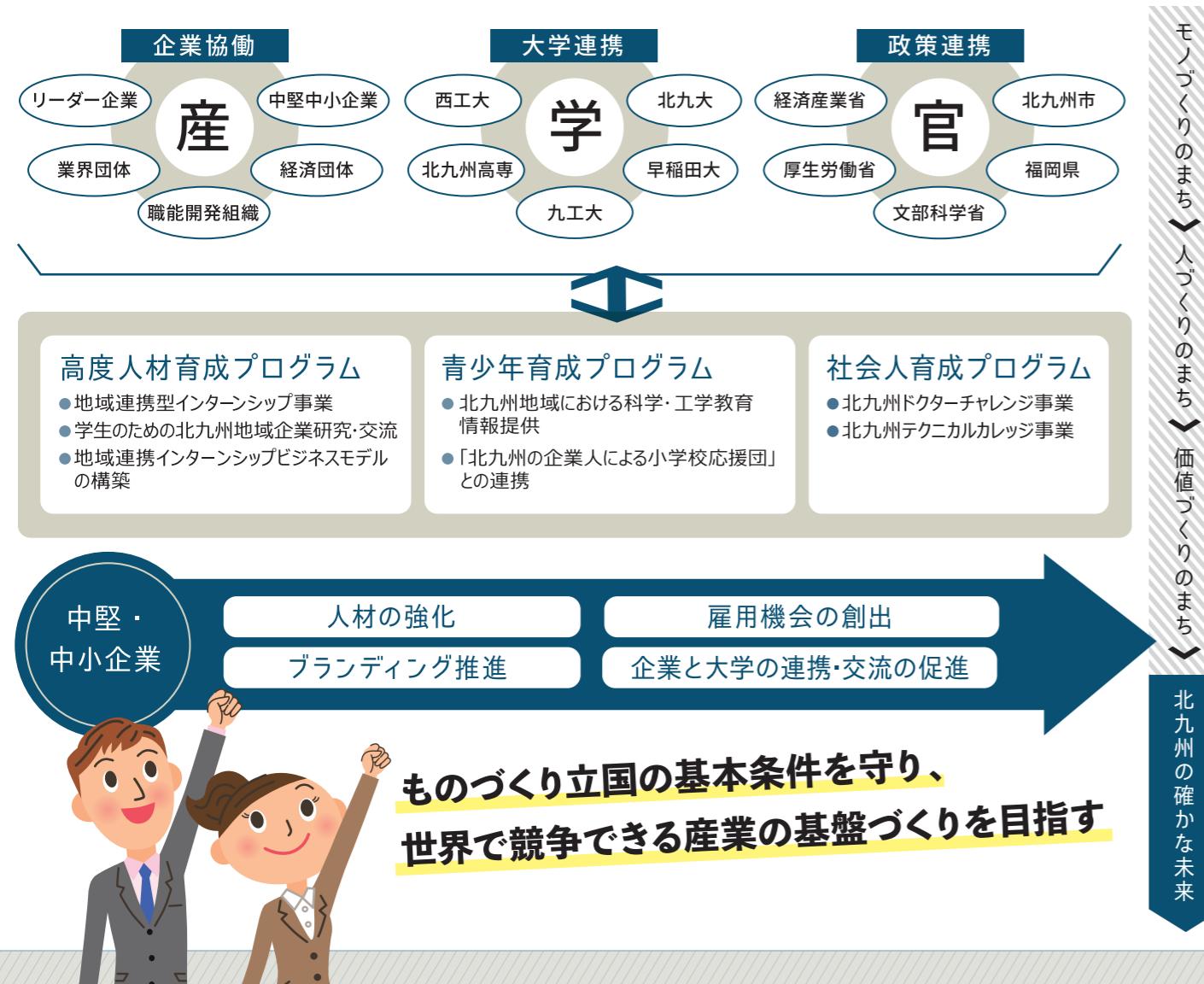
- 1 産学官民の連携による 新しい産業人材育成の持続型地域システムの構築
- 2 地域産業の成長の原単位である 中堅・中小企業の経営力(人材力)の強化
- 3 北州市の都市戦略として 地方創生(産業政策)の実践モデルの創発



都市の産業基盤である中堅・中小企業の経営力強化のために、
産業人材育成の持続的な仕組みづくりを地域一丸(産学官協働)となって推進

北九州地域産業人材育成フォーラムの事業構成

中堅・中小企業の人材育成による地域力強化・次世代のものづくり人材の育成



社会人プログラムのご案内

中核技術人材等の育成

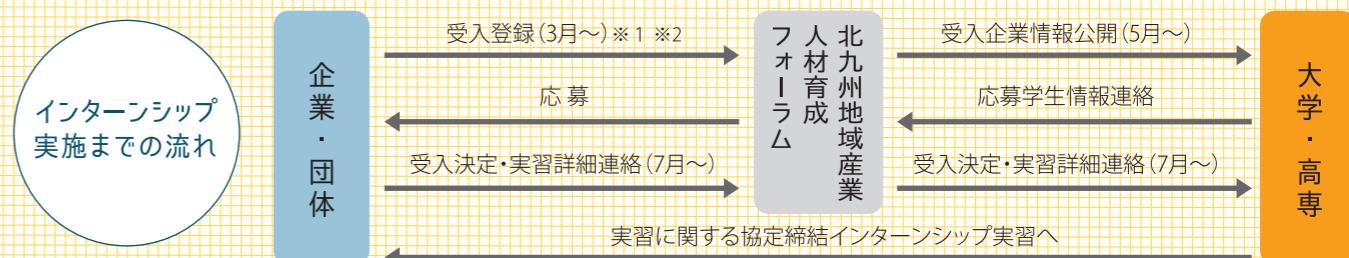
▶ 技術力強化とスキル向上に有効な教育プログラムの活用促進のための支援

① ドクターチャレンジプログラム: 九工大大学院及び北九大国際環境工学部大学院の「長期履修制度」

② テクニカルカレッジプログラム: 教育・研究及び技術上の専門知識に基づく助言及び講習等を行う九工大の「学術コンサルティング制度」

高度人材育成プログラム「地域連携型インターンシップ」学生受入のお願い

産業人材育成フォーラムが実施する「地域連携型インターンシップ」は、地元北九州及びその周辺地域の中堅・中小企業と地元工学系大学が一体となって実施しています。企業と学生そして地域と大学をつなぎ、新しい形での地域創生を目指す他に例のない全く新しい人材育成と活用の取り組みです。



- 対象学生
- 九州工業大学(全学部・専攻): 学部1~3年生、大学院1年生
 - 北九州市立大学(国際環境工学部・研究科): 学部1~3年生、大学院1年生
 - 北九州工業高等専門学校(全コース・専攻科): 本科4年生、専攻科1年生
 - 産業医科大学(産業保健学部環境マネジメント学科): 学部2~3年生
 - 早稲田大学(大学院情報生産システム研究科): 大学院1年生

*1 専用フォーマットに実施内容等をご記入いただき、ご登録。各種書式はWEBからダウンロード、もしくは電子メールにてご案内致しますので、事務局までお問合せください。

*2 登録サポートをコーディネーター(NPO法人北九州テクノサポート)が担当し、企業情報をより正確に発信いたします。

研修型(短期) インターンシップ Short-term internship

ねらい ▶ 大学から職場・社会への円滑な移行の確保
(仕事理解/採用誘発)

月	火	水	木	金
午前 8:30~12:00				
昼休み				
午後 13:00~17:30				

5日間または10日間
(終日、連続して実施)

[時期] 概ね8月中旬～9月下旬の夏期休業中

[期間] 1週間～2週間(終日)

[形態] 無給

●会社説明・工場見学・現場実習・先輩社員との懇談など

参加学生の声

●実習を通して、実際に大学で学んでいることがどのような形で仕事に活かされているかが理解できた。大学の専攻分野と異なる分野で活躍している方も少なくないことがわかったので自身の専攻分野だけに絞らずに就職活動をしていきたいと思った。



●大学では学ばない企業の仕事を体験したり、社会人にとって何が重要であるかを直接学ぶことができる貴重で有意義なものであると私は感じています。



参加企業の声

●学生から「何かを学んで帰りたい」という思いが伝わって参りました。就活準備の位置づけで参加されている方が多く、企業側も単に就業体験の場を提供するだけでなく、学生の成長・ビジョン形成に繋がる要素を今後も取り入れていきたい。

●報告会を行い、学生からの気づき・提案で社員が学生から教えていただく点もありました。

経営・管理者の経営課題解決および経営力強化

▶ 地域企業の経営課題解決および経営力強化の支援

① K2BSの職業人の養成機能を活用したMBA活用プログラム「MBAセライトフォーラム」

② ケースメソッドによる実践的経営学講座(車座塾)の企画・実施